

総合探究学習発表の場に

地元高校生がチームで参加 14日「しま間高大連携フォーラム」

日本観光学会九州・
沖縄支部（石田尾博夫
支部長）は14日、20
24年度鹿児島大会
「しま間高大連携フォー
ラム」を奄美市で開

催する。地元高校生に
よる「島嶼地域の持続
可能な地域づくり」研
究報告があり、グルー
プで取り組んだ総合探
究学習の発表の場にな
る。

同支部事務局長で霧
島市にある第一工科大
学の西嶋啓一郎教授
工学博士によると、
同学会九州ブロックと
して毎年、九州・沖縄
各県の大学持ち回りで
大会を開催。今年は鹿
児島県での大会とな

り、8月24、25日に鹿
児島大であった。大会
後援の鹿児島県教育委
員会から「世界自然遺
産の島である奄美の高
校生にも参加を呼び掛
けては」と提案された
が、費用の問題などで

「離島から県本土の鹿
児島市にある鹿大に移
動しての参加は難しい
との相談が学校からあ
り、それならこちらか
ら奄美に向く形でフ
ォーラムを開くことに
なった」と西嶋教授は

フォーラムのテーマ
は「島嶼地域における
観光学と学校教育の
『相互連携』を考える
観光教育と探究学習
による観光人材の育成
」。会場は奄美市名瀬
のA i A iひろば2階
会議室で正午開場、午
後1時開始。同支部の
吉川三重子代表による
基調講演「環境教育と
探究学習による観光人
材の育成」後、高校生が
研究報告。大島高が3

チーム、大島北高2チ
ーム、古仁屋高1チー
ムが発表予定で、奄美
高と喜界高は見学の形
で参加する。高校生に
よるパネルディスカッ
ションもある。長崎大
学の井手弘人准教授が
パネリストを務める。
西嶋教授は「これか
らの観光には地域の人
々の共生や人づくり
が求められている。次
世代である高校生の育
成へ学校との連携によ
り大学の教育的資源を
提供していきたい」と
語る。総合探究学習の
発表にあたっては西嶋
教授らも各高校を訪れ
指導にあたっており、
「高大連携」の現状を
知る機会になりそう
だ。



14日に奄美市で開催される「しま間高大連携フォーラム」を説明する日本観光学会九州・沖縄支部事務局長の西嶋啓一郎・第一工科大学教授（3日、奄美新聞社）